

令和元年度
立正大学地球環境科学部環境システム学科
環境気象学分野

卒業論文発表会

令和2年2月6日（木）

09:00～17:30

アカデミックキューブ A204 教室

令和元年度 立正大学 環境気象学分野 卒業論文発表会

日時：令和2年2月6日(木) 09:00~17:30

場所：アカデミックキューブ 教室：A204

発表時間：16分(発表12分, 質疑応答4分)

ータイムテーブルー

開会挨拶09:00~09:05

第1セッション 座長： 出井 走

1. 関澤 拓真

『暖候季の立正大学熊谷キャンパス内における森林内外の気象の差の観測』

.....09:05~09:21

2. 富田 陽奈

『関東平野における赤城おろしの発生頻度と発生時の環境場の特徴』

.....09:22~09:38

3. 尾関 剛士

『平成27年9月関東・東北豪雨における線状降水帯の構造と形成要因について』

.....09:39~09:55

4. 細田 陽一

『近畿地方北部に接近する台風の可航半円における雨量分布の特徴』

.....09:56~10:12

5. 田中 将史

『周辺地形が関東地方における「E-S型」短時間強雨に与える影響について』

.....10:13~10:29

休憩(10分)

.....10:29~10:39

第2セッション 座長： 尾関 剛士

1. 田嶋 壯太

『秩父盆地における雲海の特徴と発生メカニズムに関する研究』

.....10:40~10:56

2. 平地 美樹子

『我が国におけるソメイヨシノの開花から満開までの期間と気象条件との関係』

.....10:57~11:13

3. 葉山 拓美	
『黒潮流路パターンと関東の降雪との関係について』11:14~11:30
4. 岩崎 遼汰	
『館林市における地域気象観測所の観測値の空間代表性』11:31~11:47
お昼休憩(1 時間)11:47~12:50
第3セッション 座長： 田嶋 壯太	
1. 橋本 篤輝	
『暖候季の熊谷市における郊外逆転強度とヒートアイランド強度および風速の風向別関係』12:50~13:06
2. 寺田 暁宣	
『ENSO 周期と 8 月及び 9 月の台風発生位置および台風経路の関係』13:07~13:23
3. 仲村 太裕	
『気温日較差を用いた日本の地域区分の特徴』13:24~13:40
4. 清水 彩花	
『東京都区部で発生した短時間強雨に対する都市の影響』13:41~13:57
5. 水野 弘毅	
『関東平野における高温日の出現要因と長期傾向』13:58~14:15
休憩(10 分)14:15~14:25
第4セッション 座長： 寺田 暁宣	
1. 山本 雅也	
『2018 年 2 月 5 日~7 日に福井県嶺北地方で起こった大雪の要因について』14:26~14:42
2. 國嶋 チハル	
『熊谷市における大気汚染と朝焼け・夕焼けの関係』14:43~14:59
3. 山澤 生樹	
『館林地域気象観測所の移設による地上気温への影響に関する観測的研究』15:00~15:16
4. 澁谷 朋伸	
『若狭湾内における冬季雷発生頻度の特徴』15:17~15:33

5. 森 奨乃

『JRA-55 再解析におけるジェット気流の経月変化に関する気候学的特徴』15:34~15:50

休憩(10分)

.....15:50~16:00

第5セッション 座長： 澁谷 朋伸

1. 小林 亮太

『長野県・諏訪湖における「御神渡り」の発生期日および頻度の変動と気候変動との関係』
.....16:01~16:17

2. 工藤 大晟

『青森県青森市の降雪特性に関する研究』16:18~16:34

3. 高村 勇毅

『オゾンホール of 盛衰と南極・昭和基地の寒冷化・温暖化との関係』16:35~16:51

4. 出井 走

『日本における竜巻発生時の K 指数および TT 指数の特徴について』16:52~17:08

5. 青木 日菜子

『平成 20 年 8 月末豪雨で愛知県沖に見られた収束線の発生要因について』
.....17:09~17:25

17:25~17:30 総評